

伝統を受け継ぎ新たな未来へ

伊集院高等学校



本校は大正十二年、旧制伊集院中学校として開校し、昨年創立百周年を迎えた全日制普通科高校です。「自律 忍耐 友愛・公德」を校訓に、伊高3K「気づき、考え、行動する」力を育て、行動する力を育て、教育を大切にしています。これまで約二万四千人の卒業生が、国内外の幅広い分野で活躍しています。

在校生は、伝統を受け継ぎながら学習や部活動に主体的に

取り組み、昨年は国立大学をはじめ、進学・就職ともに確かな成果を上げました。部活動では、水泳部、陸上部、音楽部が九州大会に出場し、書道部、写真部、演劇部が全国大会に出場しました。

特に演劇部は全国大会で優良賞及び創作脚本賞を受賞しています。また、県高校英語キット大会においても最優秀賞を受賞し、創造力や表現力の高さが評価されています。

さらに、校内のDX化を進め、AIを活用した探究学習にも取り組むなど、時代に

学びの充実を図っています。今後、一人ひとりを大切に、伝統を礎に新たな挑戦を重ね、未来を切り拓く人材の育成に取り組んでまいります。
(教頭 相良敏夫)



全国高等学校総合文化祭に出場した演劇部